

平成30年度 大造り物展示場所

五穀豊穣願いを込めて、練り歩く大造り物

江戸中期から約260年の歴史を持つ八朔祭。八朔(旧暦8月1日)の日に始まり、五穀豊穣・豊作祈願の祭りとして、代々受け継がれてきました。現在では毎年9月第1土曜日・日曜日に行われます。祭りの始まりは、商家の人たちが農家の人をねぎらい、手厚いおもてなしを行ったことから伝わります。八朔祭のためにつく「大造り物」は、竹、杉、すすき、松かさ等の自然の材料を使い、各連合組が技術を競い合いながら作り上げます。何基もの大造り物が八朔囃子とともに町内を引き廻される様は圧巻です。



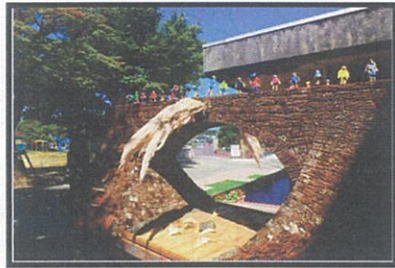
銀
大川町・下大川連合組
※ 忠誠を誓う犬神



銅
矢部高校
※ 緑科学科 BIG BANG



銅
下馬尾連合組
※ 不正続出 世直し行動アンパン



銅
矢部小学校
※ 明日にかける橋



銅
仲町下連合組
※ 子々孫々 繁栄を願う!! (獅子)



銅
仲町上連合組
※ 千年の時を越え 世直し獅子 現る



銅
下市連合組
※ 平成の鶏を飾る! (平成を振り返って...)



銅
水道町・城見町・新町上連合組
※ 猛暑ふきとばせ「豪猪」



銅
山都町役場
※ チャレンジ山都! 山の都へ更なるトライ!



銅
新町中連合組
※ 未来への羽ばたき 飛龍



銅
浦川連合組
※ 異常気象はっかる「タイガー(虎)腹ん立つ(竜)」

